

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関西国際空港2期地区新旅客ターミナル	階数	地上2F
建設地	泉南郡田尻町泉州空港中11番1の	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	1,096 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年8月 予定	評価の実施日	2015年12月21日
敷地面積	148,052 m ²	作成者	株式会社熊谷組 渡瀬
建築面積	28,321 m ²	確認日	2015年12月25日
延床面積	36,442 m ²	確認者	株式会社熊谷組 井塚



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 59%

③上記+②以外の 59%

④上記+ 59%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 4.0

3 設計上の配慮事項		
総合	本物件はLCC旅客ターミナルであり、建物もローコストで作られているが、中でも、心地よさと凛とした和のイメージを盛り込んでいる。	その他 0
Q1 室内環境	遮音性の高いサッシを採用する等、人工島の飛行場の中にあって利用客に十分な快適さ・居心地のよさを提供することができるよう配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の緑化に努めている。また、既存の建物にも違和感無く調和できるよう配慮している。
LR1 エネルギー	省エネルギー法の基準を満足させ、設備等の効率化を図っている。	LR3 敷地外環境 空港利用者の為に適切な量の駐車場を確保している。また、光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たしている。
Q2 サービス性能	清掃等維持管理をしやすいようメンテナンス性に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	節水型機器の利用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0025

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	関西国際空港2期地区新旅客ターミナルビル新築工事					
		建設地	泉南郡田尻町泉州空港中11番1の一部,13番の一部、,14番の一部					
		用途/区分	集会所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A		
	CO2削減					5		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.6	5	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	5.0	4	
					住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.7		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				5.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.6		
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				4.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
		LED照明						
特に配慮した事項								